

薬害根絶デー 季節外れになってしまった◎想録

またお久しぶりになってしまいました。ニュース定期発行への道はなかなか困難ですが、でも焦らずに薬害根絶の心を育むお手伝いになればと頑張っていきます。

☆8月24日 薬害根絶デーがありました☆

前日23日・文京区民センターで前夜集会を行いました

先月末に提訴したHPVワクチン被害が主な内容で、被害者の話などがありました。

これからやってみたいことは何ですかという問いに、若い被害者少女は「バスケがしたいですね…うん…また絶対」と言っていました。「うん…」という「迷い？」のような言葉に、「また絶対バスケがしたい」と思う気持ちをより一層強く感じました。

この被害が、詐病とか甘えとかでなく本当であること、安心して治療を受けられること、それを裁判で勝ち取るということの意味深さを感じました。

24日・厚労省前リレートークと“薬害根絶うちわ”配り、そして碑の前行動

薬害根絶うちわの受け取り Good! その後、厚労省前庭の(薬害根絶の)碑の前で、薬害根絶の要望書が全国薬害被害者団体連絡協議会(薬被連)から厚労大臣に手渡されました。

学生実行委員主催のHPVワクチン被害者との懇談会に参加しました

彼女も身体の被害だけでなく、学校や医療機関から「甘えだ、厄介者だ、詐病だ」と言われながらも耐えてきた一人でした。

この裁判に対する思いについて「私は嘘つきじゃないってことをこの裁判で証明したい」と言っていました。

どうして目の前の被害を見たいのだろう。その人の言葉を聞かないのだろう

以前、筋医師の講演で、厚生省調査ではスモン患者はゼロの地域なのに、スモンを否定できない患者を目の前にし、他の医師と協力して十数名のスモン患者を確認し、その中には自分が処方した患者もいたという話を聴きました。

国のお墨付きがあっても、加害者になるかもしれないけど、目の前の患者さんの被害に向き合うことの重要性が、このHPVワクチン被害でも問われている気がします。

学習会企画 ～HPV ワクチン被害を知ってほしいな～

日時： 2016年12月4日(日) 16時～18時

場所： たくみ外苑薬局102号 渋谷区千駄ヶ谷1-29-9 (JR千駄ヶ谷駅徒歩3分)

参加費：無料 当日参加 歓迎!

【内容】☆HPVワクチン 被害について

HPVワクチン被害者の父 酒井秀郎さん

☆訴訟の概要について

HPVワクチン薬害訴訟東京弁護団より



「子宮頸がん予防ワクチン」と世間にお披露目されたこのワクチンは癌を予防できるということや、接種費用が公費(自治体負担等)となってから、多くの少女たちに投与されました。

しかし、接種直後の失神だけでなく、遅発性で慢性化する全身の疼痛、知覚、運動、記憶障害等の深刻な副作用被害が発生しました。

現在このワクチンの積極的勧奨は中止されていますが、この中止の状況をWHO(世界保健機関)は日本を名指して批判し、接種推進派も勧奨再開を求めています。

今年7月、被害にきちんと向き合おうとしない国、製薬企業に対して、損害賠償請求訴訟を東京、名古屋、大阪及び福岡の各地裁に提訴しました。

是非彼女たちの声に耳を傾け、この被害を知って欲しいとこの学習会を企画しました。

薬害を知る機会として一人でも多くの方々に参加していただきたいと思っています。

【共催】薬害オンブズパーソン会議・タイアップ 東京、薬害根絶デー実行委員会、薬害エイズを考える山の手の会
連絡先：薬害オンブズパーソン会議事務局 03(3350)0607



イラスト提供「web サイト赤ぎんちゃんの散・歩・道」